

令和7年6月13日
福島県会津農林事務所 農業振興普及部
(TEL 0242-29-5307)
JA会津よつば あいづ西部営農経済センター

1 気象概況及び予報

表1 月別気象表（会津若松市）

月	半旬	平均気温（℃）			最高気温（℃）			最低気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（hr）		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比（%）	本年	平年	平年比（%）
5	1	14.1	14.1	0.0	19.9	21.0	-1.1	7.6	7.7	-0.1	19.5	10.6	184	28.2	32.6	87
	2	13.9	14.9	-1.0	20.0	21.7	-1.7	7.8	8.7	-0.9	40.5	11.8	343	22.6	31.9	71
	3	16.3	15.5	0.8	22.4	22.0	0.4	10.7	9.7	1.0	5.0	13.6	37	29.6	31.2	95
	4	19.3	16.4	2.9	24.7	22.8	1.9	15.0	10.7	4.3	14.5	14.3	101	22.5	32.3	70
	5	18.5	17.4	1.1	23.7	23.8	-0.1	13.6	11.7	1.9	11.5	12.5	92	19.8	33.7	59
	6	17.2	18.2	-1.0	22.4	24.6	-2.2	12.9	12.7	0.2	14.5	11.8	123	27.8	41.3	67
平均・合計		16.6	16.1	0.5	22.2	22.7	-0.5	11.3	10.2	1.1	105.5	74.6	141	150.5	203.0	74
6	1	17.7	19	-1.3	22.8	25.2	-2.4	13.3	13.6	-0.3	9.5	8.6	110	22.2	34.0	65
	2	21.7	19.7	2.0	28.4	25.6	2.8	15.9	14.7	1.2	1.5	10.3	15	32.7	31.3	104
平均・合計		19.7	19.4	0.4	25.6	25.4	0.2	14.6	14.2	0.5	11.0	18.9	58	54.9	65.3	84

会津若松市の令和7年5月の平均気温は 16.6℃で、ほぼ平年並に推移しました。降水量は 105.5mm（平年比 141%）で平年より多く、日照時間は 150.5 時間（平年比 74%）で平年より少なくなりました。6月1半旬～2半旬の平均気温は 19.7℃でほぼ平年並となりました。降水量は 11.0mm（平年比 58%）、日照時間は 54.9 時間（平年比 84%）で平年より少なくなりました。

東北地方の1か月予報（6/7～7/6）によると、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、降水量と日照時間は平年並で曇りや雨の日が多い見込みです。

2 生育状況（6/2 現在、会津若松市）

もも、りんごの果実は平年よりも大きくなっていますが（表2）、満開後日数で比較すると平年並です。なお、りんごでは昨年よりも結実割合が低いため、着果量に注意が必要です。

表2 各樹種の果実肥大状況（6月2日調査、暦日比較、平年は1986～2024年の平均）

樹種	りんご		もも	
品種	ふじ		あかつき	
調査地点	会津若松市 北会津町		会津若松市 神指町	
	縦径	横径	縦径	横径
果実径 (mm)	28	23	34	27
平年比 (%)	120	116	108	117

表3 りんご「ふじ」結実果そう率調査（5月26日調査、会津若松市北会津町）

品種	結実果そう率（％）	中心果結実果そう率（％）
ふじ	66（73）	47（54）

※（ ）内は前年同時期の調査結果

また、会津身不知の満開は平年より1日遅く、昨年より13日遅くなりました。

表4 会津身不知の生育状況（令和7年6月9日現在）

発芽観測日	展葉観測日	開花観測日	満開観測日
4月12日 （平年より3日、昨年より4日遅い）	4月25日 （平年並、昨年より5日遅い）	6月6日 （平年より2日、昨年より13日遅い）	6月9日 （平年より1日、昨年より13日遅い）

3 今後の栽培管理

どの樹種も、梅雨期は特に病気に感染しやすい時期です。

→以下の4つのポイントを抑えて徹底防除しましょう。

- ① 薬剤防除は10日以上間隔を空けないでください。
- ② 晴れ間を見て、降雨前に散布しましょう。
- ③ SSはできるだけゆっくり走り、適正量を散布しましょう。
- ④ 夏季せん定を実施し、薬剤の通りを良くしましょう。

梅雨期で特に注意が必要な病害虫

- ・かき落葉病
- ・ももせん孔細菌病
- ・りんご斑点落葉病
- ・ぶどう晩腐病 など

（1）りんご

ア 仕上げ摘果

果実肥大を促進し、翌年の隔年結果を防止するため、表5を目安に、満開後60日（今年の北会津町「ふじ」なら6月29日頃）までに終了させましょう。

イ 新梢管理

主枝や亜主枝の基部付近の背面から発生した徒長枝をせん除し、日当たりを確保するとともに薬剤の通りを良くしましょう。

ウ 病虫害防除

- ・薬剤のかからない箇所がないよう散布時は留意するとともに、必要に応じて夏季せん定を実施しましょう！

表5 仕上げ摘果の基準

品 種	仕上げ摘果の目安	必要葉枚数
あかね、つがる、紅玉など	3頂芽に1果	1果あたり45枚
ふじ、陽光、ジョナゴールド 王林、さんさなど	4頂芽に1果	1果あたり60枚

（2）かき

ア 摘花・摘果

2L以上の大玉果を生産するためには、摘果をしっかりと行うことが重要です。その後、生理落果が終了する7月中～下旬に、小果、傷果、奇形果等を中心に最終着果数を目安に修正摘果を行います（表6）。

表6 結果枝ごとの摘花程度及び最終着果数の目安

新梢長	残す花数	最終着果数
5 cm 以下	0 個	0 果
5 ～15cm	3 本に 1 個	1 果
15～30cm	1 個	1 果
30cm 以上	2 個	1～1.5 果

イ 病虫害防除

落葉病の主要感染期は6～7月で、降水量が多い年ほど発生が多くなります。降水量が多い年は、間隔を詰めて薬剤散布を実施しましょう。また、降雨前散布を心掛けましょう。

ウ その他（発芽しない枝について）

摘蕾指導会時に、枝の先端が枯れていないのに発芽していないことが多い原因について質問がありました。昨年、着果量が多かった園地で枝の充実が不十分で、発芽しなかったと考えられます。枝が生きている場合は、陰芽が芽吹くこともあるため、その枝を今後のために残したい場合は陰芽が芽吹くのを待ち、その先端の部分が無くて問題ない場合は切るなど、枝の状況に合わせて対応しましょう。

（3）もも

ア 仕上げ摘果

会津若松市神指町のモモ「あかつき」は7月1日頃に「硬核期」が終了すると見込まれます。硬核期が終わり次第、仕上げ摘果と夏季せん定を実施してください。

なお、双胚果（図1、2）があれば、優先的に摘果しましょう。双胚果は正常果と比べて大きく、縫合面の割裂が見られます。



図1 双胚果

イ 病虫害防除

県内では、モモせん孔細菌病が発生しています。せん孔細菌病は降雨で感染が広がるため、今後、梅雨期に感染が拡大する恐れがあります。病斑を見つけたら基部まで切り戻し、園外に持ち出して適切に処分しましょう（図3～5）。

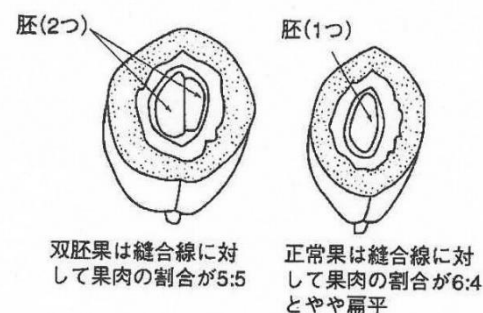


図2 双胚果（左）と正常果（右）



図3 健全な一年枝



図4 春型枝病斑



図5 春型枝病斑

※県農業総合センター果樹研究所より提供

(4) ぶどう

ア 摘粒・・・早期実施により作業効率も良く、十分な果粒肥大が期待できます！

(ア) 目的：果房の形を整えて、商品性の高い果実に仕上げるため実施する。

(イ) 時期：満開後10日～20日（露地だと例年6月25日～7月5日頃）

(ウ) 目安：花穂長 6～7 cm（手のひらサイズ）

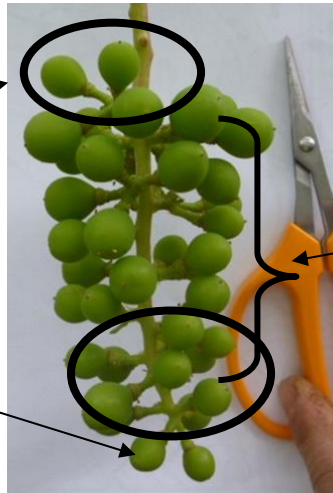
着粒数 35粒前後

収穫時房重 450 g 前後

(エ) 摘粒する果粒：下垂果、内向果、変形果、小粒果、サビ果

上段の支梗では4～5粒のうち、3粒は上向きの果粒を残す。

下段は房尻の形がきれいにまとまるよう果粒を残す。



中段は水平で外側に向いた果粒を残す。
下段は水平で外向きと下向きの果粒を残す。

図6 摘粒の目安（シャインマスカット）

イ 病虫害防除

梅雨期は**晩腐病**（図7）の重点防除期のため、①降雨前の散布、②摘粒後のカサ掛け（図8）を行いましょう。なお、果面の汚れを防ぐため、袋かけが終了するまで展着剤は加用しないでください。



図7 晩腐病の罹病果



図8 カサ掛け

○近年、農業災害が多発しています。農業保険（農業共済・収入保険）に加入しましょう！

○降雨により脚立が滑りやすくなります。

せん定で脚立を使用する際は、右の5つのポイントを抑えて安全対策をお願いします！

(1) 設置時に**トントン**と足を踏み込む

(2) **天板**に乗らない

(3) **開脚防止チェーン**をかける

(4) 昇降時に**物を持たない**工夫

(5) 脚立から**身を乗り出さない**

○県内全域にツキノワグマ出没注意報が発令中です。

朝夕、1人で園地に行かないようにしましょう！

○令和7年度福島県農薬危害防止運動を実施中です（6/10～9/10）。

農薬使用時にはラベル表示を確認し、使用方法や注意事項を守りましょう！

